

講座報告書

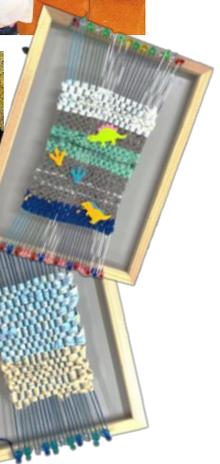
開催日時：令和6年6月28日（金） 午後6時30分から午後8時30分	市民講座 はなまき暮らし部×SDGs 第2回「古布が生まれ変わる！ 木杵手織り機でさき織り体験」	12 つくる責任 つかう責任 
受講者数：15名	材料代及び保険料 420円	
開催場所：生涯学園都市会館（まなび学園）		
講師：花巻市地域おこし協力隊 平川 優		

講座の様子

はなまき暮らしの魅力と話題のテーマ「SDGs」を楽しみながら学ぶ講座として、第2回目は身近なグッズでできる木杵手織り機を使って、皆さんのお家にある古布を再利用するさき織り体験を行いました。

最初に、さき織りと関連する「SDGs」の目標「12 つくる責任 つかう責任」の講話があった後に体験を行いました。緯糸は持参した古布を裂く、Tシャツをハサミで切るなどして作りました。布を手で裂く経験のない方も多く、素材による違いを楽しんで裂いてみました。経糸を木杵に掛けたら、糸通しを使って平織りしていきます。緯糸の変え方や端の処理、外し方も講師の実演を交えて確認し、思い思いの古布を使って、自由にさき織りにチャレンジしました。

「地元のさき織り文化は知っていても、手軽に織るのは難しいと思っていた。」という受講者の声も多く、講座終了後に家でも体験ができるよう、木杵手織り機は各自持ち帰っていただきました。地元の古くからの生活の知恵であるさき織りを通して、「SDGs」を学ぶこともできる機会となりました。



受講者の感想（一部抜粋）

- ・さき織りをやってみたくてずっと思っていたので、体験できて良かった。
- ・手織りはやったことがありますが、さき織りは初めてで布の裂き方が勉強になりました。
- ・家にキットを持ち帰って、また作ることができる所も良いと思います。

